



平成29年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

平成29年5月15日

上場会社名 株式会社 ヤマノホールディングス
コード番号 7571 URL <http://www.yamano-hd.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼最高経営責任者 (氏名) 山野 義友
(CEO)

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理副本部長兼 (氏名) 岡田 充弘
財務経理部長

TEL 03-3376-7878

定時株主総会開催予定日 平成29年6月29日 配当支払開始予定日 平成29年6月30日

有価証券報告書提出予定日 平成29年6月30日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期の連結業績(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期	26,328	10.7	363	37.5	349	41.1	188	207.3
28年3月期	23,791	2.7	264	127.3	247	197.5	61	65.5

(注) 包括利益 29年3月期 214百万円 (271.1%) 28年3月期 57百万円 (%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利 益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
29年3月期	5.55		16.8	2.9	1.4
28年3月期	1.79		5.3	2.1	1.1

(参考) 持分法投資損益 29年3月期 百万円 28年3月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期	11,627	2,508	10.1	34.50
28年3月期	12,707	2,402	8.4	31.41

(参考) 自己資本 29年3月期 1,174百万円 28年3月期 1,069百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
29年3月期	551	148	1,081	1,042
28年3月期	250	312	653	1,427

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
28年3月期		0.00		2.00	2.00	68	111.7	5.9
29年3月期		0.00		2.00	2.00	68	36.1	6.1
30年3月期(予想)								

平成30年3月期の配当予想につきましては、平成30年3月期の業績予想が可能となった時点において、速やかに開示いたします。

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期									

平成30年3月期の業績予想につきましては、予定されている事業譲渡等の事業再編が未完であり、現時点では一定の前提を置いて業績予想を想定することができないため、売上高、利益ともに未定としております。今後、業績予想の算定が可能となった時点において、速やかに開示いたします。

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期	34,497,058 株	28年3月期	34,497,058 株
期末自己株式数	29年3月期	456,866 株	28年3月期	456,866 株
期中平均株式数	29年3月期	34,040,192 株	28年3月期	34,317,229 株

(参考)個別業績の概要

平成29年3月期の個別業績(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期	12,419	3.3	93	33.2	200	24.3	210	3,900.1
28年3月期	12,848	1.9	139	47.8	161	38.1	5	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期	6.17	
28年3月期	0.15	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期	6,648	768	11.6	22.58
28年3月期	6,604	626	9.5	18.41

(参考) 自己資本 29年3月期 768百万円 28年3月期 626百万円

決算短信は監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる情報及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(会計方針の変更)	13
(追加情報)	13
(セグメント情報等)	14
(1株当たり情報)	19
(重要な後発事象)	20
4. その他	21
役員の異動	21

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における国内経済は、企業収益や雇用情勢の改善を背景に緩やかな景気回復の動きが見られたものの、為替変動リスクや新興国の景気減速、米国新政権の動向に関する懸念など、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況の下、当社グループでは、M&Aの積極推進により事業規模拡大を目指しており、前期において和装宝飾事業及び卸売事業で新たな連結子会社を2社加えましたが、当期においては卸売事業でイエリデザインプロダクツ株式会社より横ニット企画販売部門の事業を譲り受け、業容の拡大を図ってまいりました。

当期の連結業績は、暖冬によるウィンター関連商品の売上低迷による影響があったものの、前期M&Aにより増加した子会社の業績が好調に推移したこともあり、売上高は263億28百万円（前年同期比10.7%増）、営業利益は3億63百万円（前年同期比37.5%増）、経常利益3億49百万円（前年同期比41.1%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は1億88百万円（前年同期比207.3%増）となりました。

当社グループのセグメントの業績は、以下のとおりであります。

1) 「美容事業」

美容事業は、競合店増加が続くオーバーストア状態による集客減・売上高減少に対応するため、当期においては、店舗・店舗統括マネージャー・本部各々での人員配置について抜本的な見直しを図るとともに、サービス力・提案力向上のための技術研修を強化、またDM等販促活動の効率化を推進いたしました。特に着付サービスにおいては、スタッフへの着付研修を継続的に実施するとともに和装小売店舗へのスタッフ派遣を推進するなど、和装事業との連携強化も実施してまいりました。これらの取り組みにより、来店客数や顧客単価に改善は見られましたが、当期においては不採算店舗13店舗の閉鎖を実施した影響等があり、売上高は21億84百万円（前年同期比7.4%減）となりました。一方、人員数は一定の維持を図っており、人件費比率が増加しているため、セグメント利益は35百万円（前年同期比27.3%減）となりました。

2) 「スポーツ事業」

スポーツ事業におきましては、主力であるウィンター商戦が降雪不足により不調に終わり、売上高は35億28百万円（前年同期比5.3%減）、セグメント損失は1億84百万円（前年同期はセグメント損失1億68百万円）となりました。

昨今の暖冬によるウィンター商戦への影響を始め、消費者ニーズの多様化や業種を超えた競争激化により事業を取り巻く状況に厳しさが増す中、当社は平成29年3月15日開催の取締役会においてスポーツ事業をR I Z A P株式会社へ事業譲渡することを決議いたしました。なお、事業譲渡の詳細につきましては「3. 連結財務諸表及び主な注記事項 (5) 連結財務諸表に関する注記事項 (追加情報)」をご参照ください。

3) 「DSM事業」

DSM事業におきましては、セイビング会員の休眠顧客に対する掘り起し活動を推進し、販売強化に努めてまいりましたが、事業所統廃合を実施し販売拠点は6拠点減少しました。これに伴う販売員減少の影響等により、売上高は23億63百万円（前年同期比8.9%減）となり、セグメント利益は48百万円（前年同期比31.9%減）となりました。

4) 「和装宝飾事業」

和装宝飾事業におきましては、前期新たに子会社化した株式会社すずのきが期初から好調に推移したこともあり、売上高は108億62百万円（前年同期比41.1%増）、セグメント利益は4億55百万円（前年同期比53.3%増）の増収増益となりました。

和装業界の市場規模が減少傾向にある状況下で、和装宝飾事業においては2店舗の新規出店、5店舗の移転・改装を実施するとともに、不採算の宝飾小売店舗11店舗の閉鎖を実施し、店舗展開の活性化を図り、また、和装小売店舗においては、顧客のきものを着る機会の場として、多様な「きもの会」を企画・提案するなど、「ソフトと価値の提供」戦略を積極推進いたしました。結果、和装店舗ではM&Aによる増収のみならず既存店売上高においても前年同期比で101.1%と堅調な推移となり、和装宝飾事業の業績は売上高・利益とも過去最高となりました。

5) 「卸売事業」

卸売事業におきましては、前期事業譲受した和装小物卸売事業の株式会社吉利や、当期にイエリデザインプロダクツ株式会社より横ニット企画販売事業を事業譲受したことにより、売上高は66億62百万円（前年同期比0.2%増）となりました。利益面につきましては新規子会社での販管費増加があり、セグメント利益51百万円（前年同期比0.3%減）となりました。

6) 「その他の事業」

その他の事業の事業内容は、主に堀田（上海）貿易有限公司の意匠捺糸の販売、株式会社ヤマノセイビングの前払式特定取引業による手数料収益であります。

その他の事業の売上高は、意匠捺糸販売が好調に推移したものの為替の影響により7億26百万円（前年同期比5.0%減）となりましたが、セグメント利益は8百万円（前年同期はセグメント利益0百万円）と改善いたしました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末と比べ10億79百万円減少し116億27百万円となりました。これは主に、現金及び預金が3億86百万円減少、受取手形及び売掛金が46百万円減少、商品及び製品が2億17百万円減少、敷金及び保証金が2億73百万円減少したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末と比べ11億85百万円減少し91億18百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が3億63百万円減少、電子記録債務が1億10百万円増加、短期借入金が2億84百万円減少、未払金が76百万円減少、長期借入金が5億63百万円減少したことによるものであります

純資産につきましては、前連結会計年度末と比べ1億5百万円増加し25億8百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益計上による利益剰余金1億88百万円の増加、剰余金の配当68百万円によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ3億85百万円の減少となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は5億51百万円となり、前年同期と比べ3億1百万円（前年同期比120.1%）の増加となりました。

これは主に、税金等調整前当期純利益3億20百万円に対し、売上債権の減少額38百万円、たな卸商品の減少額2億58百万円、仕入債務の減少額2億40百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得られた資金は1億48百万円となり、前年同期と比べ1億64百万円減少（前年同期比52.6%減）となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出71百万円、事業譲受による支出60百万円、敷金及び保証金の回収による収入3億25百万円、敷金及び保証金の差入による支出53百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果支出した資金は10億81百万円（前期は6億53百万円の支出）となりました。

これは主に、長期借入金の返済による支出6億96百万円、短期借入金の減少2億84百万円、配当金の支払額67百万円によるものであります。

(4) 今後の見通し

① 次期の連結業績予想

平成30年3月期の連結業績については、現時点においては未定としております。

平成30年3月期におきましては、平成29年5月23日付でスポーツ事業の事業譲渡を予定しており、また当社グループを美容と和装を中心とした事業への選択と集中を進めるため、子会社の吸収合併等の事業再編を予定しております。これら事業再編は、中期的な業容拡大を目指した新たなビジネスモデルを構築するためのものですが、現時点においては当社に与える影響につきましては精査中であります。今後、業績に与える影響額が明らかとなった時点で、連結業績予想については速やかに開示いたします。

② 次期の配当予想

次期の配当につきましては、利益配分に関する基本方針にならびに連結業績予想に基づき決定いたしますが、平成30年3月期の連結業績予想が未定であるため、現時点において次期の配当予想は未定としております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの主要業務は現在日本に限定されており、海外での活動に重要性がないことから当面は日本基準を採用することとしております。なお、I F R S (国際財務報告基準)の適用につきましては、今後の外国人株主比率及び国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当連結会計年度 (平成29年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,917,381	1,531,138
受取手形及び売掛金	2,701,598	2,655,459
電子記録債権	169,360	165,975
商品及び製品	3,666,911	3,449,795
仕掛品	14,290	18,890
原材料及び貯蔵品	56,407	63,871
繰延税金資産	29,009	11,820
その他	339,206	367,166
貸倒引当金	△43,185	△42,156
流動資産合計	8,850,981	8,221,962
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,906,066	1,871,562
減価償却累計額	△1,339,802	△1,315,282
建物及び構築物(純額)	566,264	556,280
機械装置及び運搬具	13,873	9,781
減価償却累計額	△13,451	△9,426
機械装置及び運搬具(純額)	422	354
工具、器具及び備品	450,296	409,096
減価償却累計額	△403,767	△360,167
工具、器具及び備品(純額)	46,529	48,928
土地	743,633	743,633
リース資産	81,160	82,008
減価償却累計額	△39,963	△54,231
リース資産(純額)	41,197	27,776
有形固定資産合計	1,398,046	1,376,974
無形固定資産		
のれん	237,919	181,651
その他	115,223	86,034
無形固定資産合計	353,142	267,686
投資その他の資産		
投資有価証券	161,051	131,321
長期貸付金	27,682	11,475
繰延税金資産	92,544	83,131
敷金及び保証金	1,591,276	1,317,612
その他	322,817	287,431
貸倒引当金	△90,539	△70,460
投資その他の資産合計	2,104,832	1,760,512
固定資産合計	3,856,021	3,405,173
資産合計	12,707,003	11,627,135

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当連結会計年度 (平成29年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,797,134	2,433,781
電子記録債務	495,282	605,604
短期借入金	584,800	300,500
1年内償還予定の社債	36,400	36,400
1年内返済予定の長期借入金	440,444	407,060
未払金	673,339	597,147
前受金	1,829,343	1,831,465
未払法人税等	78,557	78,903
賞与引当金	78,557	99,218
返品調整引当金	29,905	33,308
ポイント引当金	52,008	54,150
株主優待引当金	4,321	4,756
資産除去債務	17,430	4,365
その他	419,689	505,575
流動負債合計	7,537,215	6,992,236
固定負債		
社債	110,200	73,800
長期借入金	2,011,190	1,447,780
長期末払金	175,687	175,852
繰延税金負債	34,616	30,652
資産除去債務	327,910	319,336
その他	107,384	78,799
固定負債合計	2,766,989	2,126,220
負債合計	10,304,204	9,118,457
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
利益剰余金	999,153	1,111,671
自己株式	△53,008	△53,008
株主資本合計	1,046,145	1,158,662
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,079	9,691
為替換算調整勘定	10,935	6,081
その他の包括利益累計額合計	23,015	15,772
非支配株主持分	1,333,638	1,334,242
純資産合計	2,402,798	2,508,678
負債純資産合計	12,707,003	11,627,135

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)
売上高	23,791,510	26,328,086
売上原価	13,852,780	14,696,503
売上総利益	9,938,729	11,631,582
販売費及び一般管理費	9,674,665	11,268,520
営業利益	264,063	363,062
営業外収益		
受取利息及び配当金	6,175	7,026
受取地代家賃	11,979	13,987
為替差益	-	3,012
助成金収入	1,545	9,860
協賛金収入	11,026	10,365
未回収商品券受入益	6,440	-
その他	26,507	27,154
営業外収益合計	63,674	71,407
営業外費用		
支払利息	47,382	35,392
為替差損	9,848	-
手形売却損	1,685	1,415
前受金復活損失	3,522	29,266
その他	17,650	19,049
営業外費用合計	80,089	85,123
経常利益	247,648	349,346
特別利益		
投資有価証券清算益	-	7,961
投資有価証券売却益	25,147	16,564
事業譲渡益	7,890	-
その他	1,526	5,159
特別利益合計	34,564	29,685
特別損失		
固定資産除却損	2,903	1,934
減損損失	92,474	24,271
事業撤退損	-	18,935
店舗閉鎖損失	13,482	12,483
その他	919	803
特別損失合計	109,779	58,429
税金等調整前当期純利益	172,433	320,602
法人税、住民税及び事業税	89,239	69,111
法人税等調整額	14,184	25,564
法人税等合計	103,424	94,675
当期純利益	69,009	225,926
非支配株主に帰属する当期純利益	7,580	37,168
親会社株主に帰属する当期純利益	61,428	188,757

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)
当期純利益	69,009	225,926
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,084	△3,183
為替換算調整勘定	△5,048	△7,959
その他の包括利益合計	△11,132	△11,143
包括利益	57,876	214,782
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	51,849	181,515
非支配株主に係る包括利益	6,026	33,267

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100,000	1,259	1,111,229	△3,019	1,209,470
会計方針の変更による累積的影響額		△1,259	△104,590		△105,850
会計方針の変更を反映した当期首残高	100,000	—	1,006,639	△3,019	1,103,620
当期変動額					
剰余金の配当			△68,962		△68,962
親会社株主に帰属する当期純利益			61,428		61,428
自己株式の取得				△49,989	△49,989
連結子会社株式の取得による持分の増減			48		48
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	△7,485	△49,989	△57,474
当期末残高	100,000	—	999,153	△53,008	1,046,145

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	18,754	13,751	32,506	1,368,705	2,610,682
会計方針の変更による累積的影響額					△105,850
会計方針の変更を反映した当期首残高	18,754	13,751	32,506	1,368,705	2,504,832
当期変動額					
剰余金の配当					△68,962
親会社株主に帰属する当期純利益					61,428
自己株式の取得					△49,989
連結子会社株式の取得による持分の増減					48
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△6,674	△2,816	△9,491	△35,067	△44,558
当期変動額合計	△6,674	△2,816	△9,491	△35,067	△102,033
当期末残高	12,079	10,935	23,015	1,333,638	2,402,798

当連結会計年度(自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100,000	—	999,153	△53,008	1,046,145
当期変動額					
剰余金の配当			△68,080		△68,080
親会社株主に帰属する当期純利益			188,757		188,757
連結子会社株式の売却による持分の増減			△8,159		△8,159
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	112,517	—	112,517
当期末残高	100,000	—	1,111,671	△53,008	1,158,662

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	12,079	10,935	23,015	1,333,638	2,402,798
当期変動額					
剰余金の配当					△68,080
親会社株主に帰属する当期純利益					188,757
連結子会社株式の売却による持分の増減					△8,159
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△2,388	△4,854	△7,242	604	△6,638
当期変動額合計	△2,388	△4,854	△7,242	604	105,879
当期末残高	9,691	6,081	15,772	1,334,242	2,508,678

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	172,433	320,602
減価償却費	146,245	149,984
減損損失	92,474	24,271
のれん償却額	24,909	56,268
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	△13,589	3,402
賞与引当金の増減額 (△は減少)	45,039	20,660
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	△3,769	2,141
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△75,131	△15,954
受取利息及び受取配当金	△6,175	△7,026
支払利息	47,382	35,392
手形売却損	1,685	1,415
有形固定資産除却損	2,903	1,934
事業撤退損	-	18,935
事業譲渡損益 (△は益)	△5,039	-
売上債権の増減額 (△は増加)	159,039	38,483
たな卸資産の増減額 (△は増加)	37,082	258,635
仕入債務の増減額 (△は減少)	△104,368	△240,359
前受金の増減額 (△は減少)	△43,790	3,242
その他	△112,155	△21,483
小計	365,176	650,548
利息及び配当金の受取額	4,725	7,026
利息の支払額	△45,972	△35,917
法人税等の支払額	△71,423	△68,303
手形売却に伴う支払額	△1,685	△1,415
営業活動によるキャッシュ・フロー	250,820	551,938
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△104,040	△71,273
無形固定資産の取得による支出	△6,681	△11,139
投資有価証券の取得による支出	△1,489	△1,538
投資有価証券の売却による収入	37,551	41,722
定期預金の増減額 (△は増加)	114,709	800
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	382,532	-
事業譲渡による収入	38,870	-
事業譲受による支出	△200,010	△60,000
貸付けによる支出	△3,357	△500
貸付金の回収による収入	5,430	4,213
敷金及び保証金の差入による支出	△24,441	△53,015
差入保証金の回収による収入	82,894	325,968
その他	△9,093	△26,974
投資活動によるキャッシュ・フロー	312,876	148,261

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	113,140	△284,300
長期借入れによる収入	114,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△599,468	△696,794
自己株式の取得による支出	△49,989	-
社債の償還による支出	-	△36,400
配当金の支払額	△67,879	△67,555
非支配株主への配当金の支払額	△40,539	△40,524
子会社の自己株式の取得による支出	△502	△133
その他	△122,252	△55,637
財務活動によるキャッシュ・フロー	△653,490	△1,081,344
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,446	△4,299
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△92,240	△385,442
現金及び現金同等物の期首残高	1,520,071	1,427,831
現金及び現金同等物の期末残高	1,427,831	1,042,388

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当連結会計年度に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当連結会計年度の連結財務諸表への影響は軽微であります。

(追加情報)

当社は、平成29年3月15日開催の取締役会において、当社のスポーツ事業をRIZAP株式会社へ譲渡する事業譲渡契約書を締結し、平成29年5月22日開催の臨時株主総会において「事業譲渡契約承認の件」が承認後、平成29年5月23日付で譲渡予定であります。

スポーツ事業においては、グループの共通戦略である「ソフトと価値の提供」に基づきメンテナンスサービスの商品化や体験イベントサービスの開催等を積極推進し、地域密着型の専門店として顧客創造に取り組んでまいりましたが、主力であるウィンター関連・スポーツウェア関連については、暖冬による雪不足の影響に加え、消費者ニーズの多様化や業種を超えた競争激化などの影響もあり、減収が続く厳しい事業環境となっており、他社との提携を含めて検討を重ねてまいりました。その折、RIZAP株式会社より当該事業の譲受けについて申し出を受け、当該事業の発展と今後の展開について検討をした結果、フィットネスクラブ経営において全国的な知名度と情報発信力を持ち、事業多角化を展開する中でアパレル事業への参画を加速させているRIZAP株式会社へ事業を譲渡することは、当該事業の発展につながると考え、また当社グループにおいては、美容と和装を中心とした事業への選択と集中を進め、経営資源の再分配を行うことで成長スピードを加速させることができると判断し、本事業譲渡を決定いたしました。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、本社に商品・サービス別の事業本部を置き、各事業本部は、取り扱う商品・サービスについて国内の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社は、事業本部を基礎とした商品・サービス別のセグメントから構成されており、「美容事業」、「スポーツ事業」、「DSM事業」、「和装宝飾事業」及び「卸売事業」の5つを報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「美容事業」は、美容室の経営を行っております。「スポーツ事業」は、スポーツ関連商品の販売を行っております。「DSM事業」は健康関連や生活関連商品の訪問販売及び催事販売を行っております。「和装宝飾事業」は、呉服、和装小物、宝飾品、時計、毛皮等の販売を行っております。「卸売事業」は、呉服、アパレル、寝装等の卸売業であります。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産及びその他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。報告セグメントの利益は、営業利益（のれん償却前）ベースの数値であります。また、セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産及びその他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				
	美容	スポーツ	D S M	和装宝飾	卸売
売上高					
外部顧客への売上高	2,358,626	3,724,633	2,595,130	7,700,909	6,648,093
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	103,044
計	2,358,626	3,724,633	2,595,130	7,700,909	6,751,138
セグメント利益又は損失 (△)	48,446	△168,809	71,622	297,331	51,862
セグメント資産	825,274	1,578,471	410,786	4,064,649	5,720,428
その他の項目					
減価償却費	30,955	24,279	6,530	40,735	26,783
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	46,864	14,949	1,184	43,668	1,123

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	連結財務諸表 計上額 (注3)
	計				
売上高					
外部顧客への売上高	23,027,393	764,117	23,791,510	—	23,791,510
セグメント間の内部 売上高又は振替高	103,044	43,692	146,737	△146,737	—
計	23,130,437	807,810	23,938,247	△146,737	23,791,510
セグメント利益又は損失(△)	300,454	185	300,639	△36,575	264,063
セグメント資産	12,599,610	1,416,206	14,015,817	△1,308,814	12,707,003
その他の項目					
減価償却費	129,283	684	129,968	16,277	146,245
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	107,789	222	108,012	6,279	114,291

(注) 1 その他には、報告セグメントに含まれない事業セグメントである金融事業及びその他の事業等を含んでおります。

2 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益又は損失(△)の調整額△36,575千円には、セグメント間取引消去8,955千円、のれんの償却額△14,241千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△23,922千円及び棚卸資産の調整額△7,367千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(2) セグメント資産の調整額△1,308,814千円には、セグメント間債権の相殺消去△2,383,414千円、各報告セグメントに配分していない本社資産1,126,120千円、棚卸資産の調整額△7,894千円及び固定資産の調整額△43,625千円が含まれております。

(3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額6,279千円は、本社管理設備への投資額であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				
	美容	スポーツ	D S M	和装宝飾	卸売
売上高					
外部顧客への売上高	2,184,327	3,528,913	2,363,985	10,862,162	6,662,644
セグメント間の内部 売上高又は振替高	248	—	—	—	181,364
計	2,184,576	3,528,913	2,363,985	10,862,162	6,844,009
セグメント利益又は損失 (△)	35,230	△184,299	48,811	455,893	51,694
セグメント資産	734,785	1,551,436	387,254	3,904,658	5,243,165
その他の項目					
減価償却費	26,233	22,719	7,100	52,762	25,095
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	5,432	43,969	2,453	63,835	2,826

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	連結財務諸表 計上額 (注3)
	計				
売上高					
外部顧客への売上高	25,602,032	726,053	26,328,086	—	26,328,086
セグメント間の内部 売上高又は振替高	181,613	38,044	219,658	△219,658	—
計	25,783,646	764,098	26,547,745	△219,658	26,328,086
セグメント利益又は損失(△)	407,330	8,765	416,096	△53,034	363,062
セグメント資産	11,821,301	1,311,602	13,132,904	△1,505,769	11,627,135
その他の項目					
減価償却費	133,911	685	134,597	15,387	149,984
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	118,517	55	118,572	2,300	120,872

(注) 1 その他には、報告セグメントに含まれない事業セグメントである金融事業及びその他の事業等を含んでおります。

2 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益又は損失(△)の調整額△53,034千円には、セグメント間取引消去8,992千円、のれんの償却額△45,600千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△5,569千円及び棚卸資産の調整額△10,857千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(2) セグメント資産の調整額△1,505,769千円には、セグメント間債権の相殺消去△2,784,224千円、各報告セグメントに配分していない本社資産1,340,744千円、棚卸資産の調整額△18,751千円及び固定資産の調整額△43,538千円が含まれております。

(3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額2,300千円は、本社管理設備への投資額であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高に区分した金額が連結損益計算書の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

主要な顧客に関する情報は、単一の外部顧客への売上高が、連結損益計算書の売上高の10%未満であるため、省略しております。

当連結会計年度(自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高に区分した金額が連結損益計算書の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

主要な顧客に関する情報は、単一の外部顧客への売上高が、連結損益計算書の売上高の10%未満であるため、省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)

(単位：千円)

	美容	スポーツ	D S M	和装宝飾	卸売	その他	全社・消去	合計
減損損失	5,500	15,430	—	71,543	—	—	—	92,474

当連結会計年度(自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)

(単位：千円)

	美容	スポーツ	D S M	和装宝飾	卸売	その他	全社・消去	合計
減損損失	8,006	33	—	16,232	—	—	—	24,271

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)

(単位：千円)

	美容	スポーツ	D S M	和装宝飾	卸売	その他	全社・消去	合計
(のれん) (注)								
当期償却額	—	—	—	24,909	—	—	—	24,909
当期末残高	—	—	—	237,919	—	—	—	237,919

(注) 当連結会計年度より「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)等を適用したことに伴い、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額に該当する前連結会計年度の美容事業の「のれん」は、当連結会計年度の期首時点の資本剰余金及び利益剰余金に加減しております。

当連結会計年度(自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)

(単位：千円)

	美容	スポーツ	D S M	和装宝飾	卸売	その他	全社・消去	合計
(のれん)								
当期償却額	—	—	—	56,268	—	—	—	56,268
当期末残高	—	—	—	181,651	—	—	—	181,651

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度(自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)
1株当たり純資産額	31円41銭	34円50銭
1株当たり当期純利益金額	1円79銭	5円55銭

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	61,428	188,757
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	61,428	188,757
期中平均株式数(千株)	34,317	34,040

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当連結会計年度 (平成29年3月31日)
1株当たり純資産額		
純資産の部の合計額(千円)	2,402,798	2,508,678
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	1,333,638	1,334,242
(うち非支配株主持分)(千円)	(1,333,638)	(1,334,242)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	1,069,160	1,174,435
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(千株)	34,040	34,040

(重要な後発事象)

子会社の吸収合併

当社は、平成29年5月15日開催の取締役会において、連結子会社である株式会社マイスタイル(以下、「マイスタイル」という。)の株式を追加取得し完全子会社化するとともに、平成29年10月1日を合併期日とし、マイスタイルを吸収合併することを決議いたしました。

(1) 合併の目的

当社が美容事業を営むマイスタイルを吸収合併することによる管理コストの削減と資金管理の効率及び美容事業と和装事業の連携強化を図ることを目的としております。

(2) 合併の要旨

① 合併方式

当社を存続会社、マイスタイルを消滅会社とする吸収合併方式とし、マイスタイルは解散いたします。

② 合併に係る割当ての内容

本合併による株式その他の金銭等の割当はありません。

③ 消滅会社の新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

マイスタイルは新株予約権及び新株予約権付転換社債を発行しておりません。

(3) 吸収合併の相手会社の概要(平成28年3月31日現在)

①商号	株式会社マイスタイル
②事業内容	美容室の経営、美容用品の販売
③資本金	10百万円
④純資産	△51百万円
⑤総資産	825百万円

(4) 会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成25年9月13日)に基づき、共通支配下の取引として会計処理を行います。

(5) 子会社株式の追加取得

当該合併を実施するにあたり、平成29年5月15日開催の取締役会において、マイスタイル株式を追加取得することを決議しております。

・連結子会社の概要

商号	株式会社マイスタイル
事業内容	美容室の経営、美容用品の販売
資本金	10百万円
純資産	△51百万円(平成28年3月31日現在)
総資産	825百万円(平成28年3月31日現在)

・取得株式数及び取得前後の所有株式の状況

移動前の所有株式数	583株(所有割合 72.875%)
取得株式数	217株(発行済株式数に対する割合 27.125%)
移動後の所有株式数	800株(所有割合 100.00%)

・取得先会社の概要

商号	Regis International Holdings s.a.r.l
事業内容	美容事業

・取得する株式の取得原価 500,000米ドル

・日程

平成29年5月15日	取締役会決議
平成29年5月15日	株式譲渡契約締結
平成29年5月22日	株式取得日(予定)

4. その他

役員の変動

① 代表者取締役の変動

該当事項はありません。

② その他の役員の変動(平成29年6月29日付予定)

1. 新任取締役候補

山野 功子 (現 執行役員社主)

2. 退任予定取締役

取締役常務執行役員 勝田 清一

※同氏は引き続き常務執行役員DSM事業本部長に就任する予定です。